



商工労働観光課 事務職員
川口 敦子（平成23年度採用）

★現在の仕事

私が所属している商工労働観光課観光振興係は、伊賀市に来てもらうための観光PRや、イベントの運営、観光施設の維持管理などを業務としています。毎年春に開催される「伊賀上野NINJAフェスタ」というイベントでは、忍者に変身して、手裏剣打ち・吹き矢などの忍者体験をしていただけます。より多くの方に来ていただけるよう、企画・準備・運営を地域の方々と一緒に行い、私自身もイベント期間中は忍者衣装を着て、お出迎えしています。伊賀市の魅力を全世界に発信すること、そして来ていただいた方に満足してもらえるような伊賀市の魅力作りが現在の仕事です。

★伊賀市職員になって感じたこと

職員になって、伊賀市内にはたくさんの魅力ある観光資源があることを知りました。今年で2年目になりますが、まだまだ知らないことがたくさんあります。電話で観光についての問合せがあるのですが、相手の意図を把握して、必要としている情報を的確に分かりやすく伝えることはなかなか難しいです。しかし相手にとっては、私が1年目でも何年目でも関係なく、「市の観光係の職員」であることには変わりありません。これからも、様々な情報を吸収し、それを伝達できるよう日々励んでいきたいと思っています。

★未来の後輩へメッセージ

市役所の業務は多岐に渡ります。どの業務も様々な形で地域に貢献しており、市の発展に携わるとともに、幅広い分野の業務を経験できるので、自分自身も磨くことができると思います。また、地域の方々との関わりが深い仕事だと思います。たくさんの人との出会いを通して、刺激を受けながら働ける魅力ある仕事です。伊賀市をより元気にする一員として、みなさんぜひ一緒に働きましょう！



課税課 事務職員
立岡 優孝（平成23年度採用）

★現在の仕事

私は主に土地を評価し、固定資産税を賦課する業務をしています。売買や相続といった、登記の権利関係等の異動を課税に反映していきます。土地の現況を確認するため、現地調査に出ることも多いです。また、窓口業務では来庁された納税者の方への課税内容の説明や、証明書発行などを行っています。納税者の税への意識が高まっているため、多くの問い合わせがあります。一つ一つの話に耳を傾け、丁寧に疑問点を解消・解決していくことを心がけています。

★伊賀市職員になって感じたこと

私の志望動機は、高齢者や子どもの生活について考えたいというものでした。固定資産税の窓口には高齢者の方が来庁することが多く、税以外での要望なども聞きます。その場で解決等できるわけではないですが、貴重な体験だと思います。また、業務の中で法令を遵守することで、市民の方の様々な要望には応えかねることも多いです。常に市民の立場で物事を考えることを意識しつつ、税に携わる業務ということもあり、市職員として公平・公正な対応の大切さは、より強く感じています。

★未来の後輩へメッセージ

市の業務は様々ですが、そのすべてが伊賀市の力になっていくと思います。私は税の部門で今以上に「公平・公正な課税」を目指して日々業務に励んでいます。ひとつの目標に向かって先輩職員のみなさんと意見を出し合い、検討していく活気ある職場です。様々な視点から伊賀市について考え、実現していきませんか。みなさんと共に働ける日を楽しみにしています！





障がい福祉課 社会福祉士
宮川 麻子（平成24年度採用）

★現在の仕事

窓口対応と身体障害者手帳・療育手帳に関する仕事と障がい者の福祉サービスのための聞き取り調査をしています。手帳の申請をしてくれた方の書類に不備がないか確認し、システム入力をしてから県に送る手続きをします。後日県から手帳ができたなら申請された方に連絡し手渡します。

また、障がいやサービスについてわからなくて窓口で相談にこられる方のお話を聞いています。まだまだわからないことが多いので周りの先輩職員に聞いて対応している日々です。

★伊賀市職員になって感じたこと

以前は福祉施設で働いていましたが、今よりいろんな住民の方と接することができる仕事に就きたいと思い、市職員になりました。窓口にはいろんな住民が来られます。その方たちのお話を聞き、何を言いたいのか、希望されていることは何なのかを考えながら対応し、わかりやすく納得されるまで説明することの難しさを感じることがあります。しかし、感謝の言葉を述べて帰ってくださったときにはとても嬉しくなり、また頑張ろうという気持ちになります。

★未来の後輩へメッセージ

市職員として働くことはいろんな経験をして自分の視野を広げることにもなり、日々成長できます。社会情勢の変化や市民のニーズの高まりにより、福祉の需要はますます高まりこれからより社会福祉士の必要性は増します。人と人のつながりを大切にしながらもネットワークを広げていろんなことを吸収し、今までの経験・知識を活かして伊賀市民のために働いてみませんか？お待ちしております。



健康推進課 保健師
宮田 利恵（平成13年度採用）

★現在の仕事

保健師の仕事は、赤ちゃんから高齢者まで様々な方と出会い、地域でその人らしく生活できるようサポートすることです。いろんな住民の方と接する機会も多く、人と繋がりを持つことの楽しさや大切さ、難しさなどを感じながら、相手の気持ちに寄り添う対応ができるよう努めています。

現在は、主に成人や高齢者の方を対象にした検診、健康相談等を担当していますが、担当業務に限らず、赤ちゃんの相談や教室、子どもの健診などの事業も行っています。法律によって変わる業務内容に対応するため、研修などを通して日々勉強しながら、楽しく仕事をしています。

★伊賀市職員になって感じたこと

地元で働きたいと思い、伊賀市に就職しました。

職員になってから初めて自分の町について知ることも多く、職場を通じて様々な方と出会うことができました。

業務以外の趣味などの活動で他の職員の方との交流もあり、いろんな方との繋がりは、自分自身が成長でき広い視野を持つことができる機会になっていると感じています。

★未来の後輩へメッセージ

保健師は個人で対応する場面も多く、専門性を問われる仕事ですが、仕事は一人でするわけではありません。職場の先輩や仲間アドバイスをもったり、他職種の方と協力しながら日々業務を行っています。

専門職だからと難しく構えず、資格を活かしてチャレンジしてください。伊賀市の保健師として一緒に仕事ができるのを楽しみにしています。





さくら保育園 保育士
田中 亜有美（平成23年度採用）

★現在の仕事

子どもたちが登園してから降園するまでの時間、生活を共にします。保育所は子ども達にとって長時間を過ごす大切な生活の場であるので、子どもたちの思いに寄り添って安心して毎日を過ごせるように配慮しています。

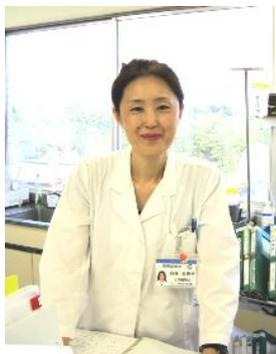
私が担任している2歳児クラスでは、自我が芽生え始めて「自分で！」の気持ちが出てくる時期であり、日々成長していく姿に大きな喜びを感じられます。まだまだ未熟で反省することばかりですが、先輩方からアドバイスやサポートをしていただき、毎日色々なことを学びながら働いています。

★伊賀市職員になって感じたこと

人と人の温かいつながりを身近に感じられることが伊賀市の魅力の一つだと思います。子ども達と一緒に園外に散歩に行くと、地域の方が「おはよう」「気をつけてね」と笑顔で声を掛けて下さいます。また、子ども達の大好きな消防車やゴミ収集車に出会うと、運転手さんが笑顔で子ども達に手を振って下さいます。このような地域の方々と触れ合いながら子ども時代を過ごすことは、きっと心豊かに成長できるきっかけになるのではと感じています。

★未来の後輩へメッセージ

保護者の方から大切な命を預かる保育士の仕事は、「子どもが好き」というだけではできませんが、「子どもが好き」でなければできないと、保育士になって改めて強く感じました。保育士は、子ども達の笑顔と元気な姿からたくさんのパワーをもらい、子どもと一緒に自分自身も成長していける素敵な仕事です。また、将来の伊賀市を担う子ども達の成長を見守っていけることは市職員としてのやりがいだと思います。伊賀市の保育士として、一緒に頑張っていきましょう。



上野総合市民病院 管理栄養士
白井 由美子（平成5年度採用）

★現在の仕事

現在私は、市民病院栄養管理課に勤務しています。主な業務は食事・栄養管理業務と、食事療法の指導・相談の実施で、またそのうえで栄養サポートチーム（NST）をはじめとしたチームメンバーとして活動しています。中でも、継続して通院治療されている外来患者さんへの対応では身体計測の実施や、血液検査値、病状に応じた具体的な食事のアドバイスと栄養補助食品の提案などを行います。給食業務委託業者への対応、衛生管理をはじめ栄養管理課内の管理業務を行っています。

★伊賀市職員になって感じたこと

生まれ育った伊賀の地で、市民の皆さまに対し、自分の専門性が活かせる仕事ができることに日々喜びを感じながら業務に励んでおります。

入院されている患者さんそれぞれの病態や状態に合わせたお食事をお出しすることと、そのうえで栄養管理すること、また、市民病院に栄養相談に来られた患者さまに食事療法の必要性を知ってもらうことで、少しでも治療に貢献できることに大きなやりがいを感じます。これからも伊賀市民の皆さまのお役に立てることと、健康管理の一助になるよう自分に与えられた業務に励んでいきたいと思っています。

★未来の後輩へメッセージ

現在市民病院は、病態別栄養療法に関して新たに大きな取り組みを始めようとしています。

そんな中で医師、看護師、薬剤師、放射線技師、臨床検査技師、理学療法士、臨床工学技師、事務職などさまざまな立場にある医療専門職スタッフの皆さんと一緒にチーム医療を行うことは、互いに学び合うことができる大変やりがいのある仕事です。

是非この環境で自分自身の力を発揮してください。





上野総合市民病院 診療放射線技師
伊室 麻貴（平成9年度採用）

★現在の仕事

放射線技術課は、市民病院の入院・外来の各診療科及び健診センターや他紹介病院と連携し、画像情報の提供を行っています。

主な業務は、全身の骨・胸部・腹部の撮影、病室や手術室での撮影で、CT・MRI・エコー・胃透視・注腸透視・マンモグラフィー・PETは、各専門分野の担当技師が日々技術向上に努め、より良い画像情報を提供できるよう心がけています。

当院救急当番日では、夜間も迅速な対応が行えるよう当直し、救急患者の撮影を行っています。また、非当番日には待機者が急変患者に対し即対応できる体制をつくっています。

★伊賀市職員になって感じたこと

私は長年生まれ育った伊賀市の病院で働きたいと思い就職しました。

伊賀市職員になって、病院職員だけでなく伊賀市職員全体の研修などで交流もあり、どの業種の職員ともつながっていると感じました。

また、業務中に患者さんから得ることも多く、仕事中に癒される時間を得ることもあります。

★未来の後輩へメッセージ

私は、患者さんや職場の仲間に支えられ、毎日楽しく仕事させてもらっています。

健診で早期発見、病院で早期治療ができる、こんな魅力的な環境の中で患者さんの治療を支える一員として伊賀市の病院で一緒に働きましょう。



上野総合市民病院 看護師
伊藤 麻利子（平成14年度採用）

★現在の仕事

現在、私は外科病棟に勤務しています。主に消化器外科の患者様が入院されており、手術を受けられる患者様の術前・術後における看護を行っています。外科病棟では「患者様とその家族に寄り添う看護」を目標に、日々スタッフ間でカンファレンスの時間を設け、患者様にどのように関わっていけばよいのかを考え、より良い看護を提供しようと取り組んでいます。

★伊賀市職員になって感じたこと

消化器外科では、食事や排泄など日常生活に深く関わる部分の手術が行われるため、患者様は手術後に大きな変化を受け入れなければなりません。そのような患者様にどう看護展開していけばよいのか悩むこともありますが、カンファレンスで話し合ったことを実践した結果、患者様が笑顔を返して下さる時には本当にやりがいを感じます。また、カンファレンスを行いスタッフ間で意見交換を行うことは、自己の看護観を深める良い機会にもなっていると感じます。

★未来の後輩へメッセージ

当院ではワークライフバランスを推進しているので、子育て中であっても仕事と家庭の両立ができるような勤務体制を組んでもらうことができます。

また、教育体制も充実しており、新人教育のみならず既卒復帰者支援にも力を入れています。人間関係も良好で、スタッフは忙しい中でもお互いに協力し合って笑顔で働く明るい職場です。一緒に患者様に寄り添う看護を提供していきましょう。





中消防署 消防士
山本 美紗貴（平成23年度採用）

★現在の仕事

現在、伊賀市中消防署警防係で24時間交代勤務をしております。火災現場や救急現場への出動が主な活動です。

日々の業務は、いつ災害が起きても対応できるように、車両や資器材の点検をし、また実際の現場を想定した訓練を行っています。訓練は、救急現場を想定したシミュレーションもあれば、実際にはしごやホース、水を使って行う火災防ぎょ訓練もあります。また、市民の方々に救急法の意識を高めいただくように、救命講習に行っています。

★伊賀市職員になって感じたこと

「伊賀市の方のために」と口で言うのは簡単なことですが、実際に働いてみて、どうすれば本当に役に立つことができるのか、自分がどうすれば現場で傷病者の方のためになるのか、すごく難しいと感じます。高校卒業後、1年間専門学校に通い採用されたので、社会で働くという大変さも知りませんでした。働くという大変さ、そして市民の方のためにどうすればより良くなるのか、という難しさに今苦戦中です。でも確実に日々成長できていると感じています。

★未来の後輩へメッセージ

私は、消防職員として働いてすごくやりがいを感じています。たとえ、大変な現場に出動した辛いときでも、市民の方の「ありがとう」の言葉でまた一步前に進めます。そのときに、市民の方のために自分のできることを精一杯発揮できればすごく大きなやりがいを感じます。消防は、現場のために体力や筋力をつけたり、24時間の勤務など、体力的に大変な職場ですが、その分やりがいは大きいです。必ず「この仕事をしていてよかった。」と思える日が来るはずです。是非そのやりがいを感じてみてください。



中消防署 消防士
森下 征典（平成23年度採用）

★現在の仕事

私は現在、中消防署警防係で24時間の交代勤務をしております。勤務の内容は、消防車両の点検や整備、水利調査、市民の方への救命講習、そして災害を想定した訓練に日々取り組んでいます。出動指令が鳴ると、現場へいち早く向かい消火活動、救助活動、救急活動を行います。この現場活動が主な仕事となっているので、各個人が高いモチベーションを保ち、日々勤務しております。

★伊賀市職員になって感じたこと

採用試験当時の私には、生まれ育った町を憧れの消防士の立場で守っていきたいという気持ちがありました。今でもその頃持っていた熱い気持ちを忘れず勤務することを日々心がけています。

ですが、気持ちだけでは消防士の仕事は務まりません。人の命と向き合わなければならない現場もあります。そのような現場で尊い命をどうしたら救えるのか？と考えた時、自分は消防の仕事に深く関心を持ち、人一倍勉強する事が大事だと思えるようになりました。

★未来の後輩へメッセージ

消防の仕事は使命感がありとてもやりがいのある仕事です。

消防士を志したいという方は何か一つ目標を見つけて下さい。その目標に向かって、前を見続ける事は消防士としてだけでなく一人の人間として、自分を成長させてくれます。また、日常生活で誰に対しても優しく救いの手をさしのべることができる、人間愛の気持ちを持つことが大切です。そして、私達と共に伊賀市のまちを守っていきましょう。

